

教科目名 校外実習 (Factory Training)

学科名・学年 : 制御情報工学科 4年

単位数など : 選択 1単位 (前期1コマ, 学習保証時間 22.5時間)

担当教員 : 丸木勇治

授業の概要			
企業, 大学, 官公庁などでの就業体験を通し, 専門分野での自分の知識を確かめるとともに勉学の目的を明確にする. また, 社会が要求し期待する人物像を具体的に把握するなど, 職業人としての心構えについても学ぶ.			
達成目標と評価方法		大分高専目標 (D2), JABEE 目標 (d2d)(h)	
(1) 問題を解決する手段や方法について理解することができる. (報告書, 報告会)			
(2) 実習の成果をまとめて発表することができる. (報告書, 報告会)			
回	授 業 項 目	内 容	理解度の自己点検
	1. ガイダンス 2. 実習先の決定 3. 実習 4. 実習報告書の提出 5. 実習報告会	<p>校外実習の詳細については, 学生便覧中に記載の「大分工業高等専門学校における校外実習, 課題学修, 及び特別学修に関する細則」を参照すること.</p> <p>校外実習の意義, 実習先紹介, 実習先申込みから採用決定までの流れなどについて説明する.</p> <p>他学科との調整の後, クラス担任を通して実習を申込み.</p> <p>実習期間は原則として夏期休業期間中の5日以上とする. 実習後に担当教員に提出する報告書や実習報告会での発表内容について, 実習先に迷惑を掛けないよう実習担当者によく相談しておくこと.</p> <p>実習後, 所定の様式の実習報告書を作成し提出する.</p> <p>発表用資料を作成し, 実習の内容や成果を発表する.</p>	【理解の度合い】
履修上の注意	校外実習は実習先企業等の厚意で受け入れて頂いているので, 様々な場面で迷惑を掛けることの無いように細心の注意をすること.		【総合評価】
教科書	なし		
参考図書	担当教員と相談の上, 各自で要なものを探す.		
関連科目	実務実習		
総合評価	達成目標の(1)及び(2)について, 本人の報告書(実習先からの評価書を含む), 報告会の発表を総合して評価する. 総合評価 = 発表会の評点 × 0.6 + 評価書および報告書審査の評点 × 0.4 総合評価が 60 点以上を合格とする。		